

## 浪人は考えられない

疲れたので、夕食は食べず、そのまま、おばあちゃんに「十時頃 起こしてや。」と言って寝る。

ふと、寝しな、考えた。

妻をめとるに、一番大事な事は自分が理想とする女性をめとる事である。さもなければ、浮気なんぞが 起こりうる。

午後九時五十分過ぎ、腹が減りだし、目覚める。

おばあちゃんが起こしに来る前から自分で下へ降りて、おばあちゃんに、「ごはん、してえ。」と頼む。

これが夕食である、腹が減ってて、うまい。

食後、しばらく、母、兄、父などと雑談。

兄貴の進学の話し。

兄貴は働くつもりなし、あくまで大学行く。

家の今の財政では、浪人は考えられない。

部屋に戻ったら 十一時。

寝ながら、机の写真を じっと見ていたらあの子が恋しくなった。